

5 就航先市民の好みを知り、静岡県の魅力をアピール



韓国国民アンケート

●静岡県で行ってみたいポイント

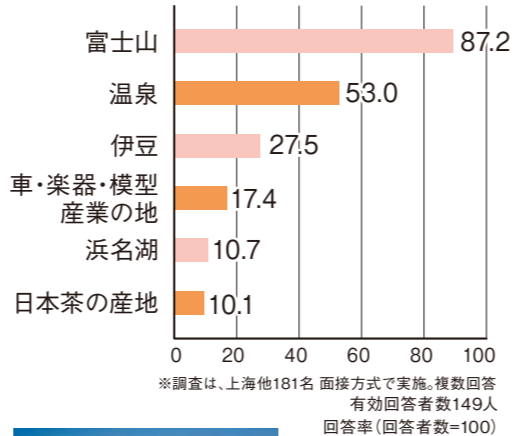
行ってみたい静岡県の観光スポット	回答数	構成比(%)	回答率(回答者数=100)
伊豆 露天風呂(温泉)	214	9.9	44.8
浜名湖・館山寺温泉	193	8.9	40.4
日本一の茶産地静岡と茶博物館・富士山	174	8.0	36.4
伊豆・焼津・浜名湖の海鮮料理	167	7.7	34.9
山間地を走る蒸気機関車(SL)	154	7.1	32.2
奥大井秋の紅葉と湖・渓谷の吊橋体験	152	7.0	31.8
富士山と御殿場のアウトレットモール	152	7.0	31.8
三保の松原・富士山と海・地引網漁体験	103	4.8	21.5
農園でのイチゴの食べ放題	101	4.7	21.1
清水港と伊豆市を往復する駿河湾フェリーからみた富士山	100	4.6	20.9
熱海温泉街のダンス芸 三大別荘の一つといわれ文豪が愛した旅館	95	4.4	19.9
裾野市のサファリパーク・富士山麓こどもの国	85	3.9	17.8
袋井市の古い日本屋敷と1500を超える花蕪蒲	79	3.6	16.5
静岡市清水港のショッピングプラザ (キャラクターテーマパーク・寿司街など)	66	3.0	13.8
浜松市楽器博物館	61	2.8	12.8
三嶋大社・富士山・柿田川湧水	61	2.8	12.8
富士山麓の朝霧高原の牧場・ゴルフ場	57	2.6	11.9
バイク・楽器工場見学	56	2.6	11.7
静岡市の模型などのプラモデル工場見学	55	2.5	11.5
御前崎ボートセーリング	45	2.1	9.4
合計	2,170	100.0	454.0
有効回答者数	478	-	100.0

注)四捨五入のため、内訳の計が合計に一致しないことがあります。
※調査は、ソウル240名、釜山99名、他151名、計490名。面接方式で実施。複数回答



上海市民アンケート

●静岡県の魅力は？



＜その他の効果＞

●外国人延べ宿泊数の増加

空港開港前後1年間の比較

順位	地域	H20.6-H21.5	H21.6-H22.5	伸び率
	全国	19,743,740	20,526,190	4.0%
1	秋田県	39,730	60,210	51.5%
2	鳥取県	10,770	16,090	49.4%
3	山梨県	367,240	459,870	25.2%
4	群馬県	48,100	58,120	20.8%
5	静岡県	380,140	455,550	19.8%
6	千葉県	1,528,130	1,804,440	18.1%
7	鹿児島県	79,900	92,220	15.4%
8	徳島県	14,260	16,450	15.4%
9	島根県	9,530	10,580	11.0%
10	沖縄県	297,050	328,730	10.7%

※(出所)観光庁「宿泊旅行統計調査」 ※調査対象従業員10人以上の宿泊施設
※H20.6-H21.12確定値、H22年1月以降速報値

●外国人延べ宿泊数の増加 空港開港年と2年目の比較

平成21年(確定値)	平成22年(速報値)	伸び率
372,230人	560,230人	50.5%

※(出所)観光庁「宿泊旅行統計調査」 ※調査対象従業員10人以上の宿泊施設

●県民の利便性向上効果(就航先への移動の時間・費用短縮)

県民が、富士山静岡空港を利用したことによる目的地までの時間・費用の短縮効果は、開港から1年間で22億円300万円と推計されます。

静岡市に住んでいるふじっぴー君が札幌へ旅行する場合

もし富士山静岡空港がなかったら...

所要時間は**269分**に
※時間価値原単位をかけた金額は16,436円。
それに航空運賃や空港までの交通費31,526円を加えると
合計47,962円かかります。

富士山静岡空港を利用すれば...

所要時間は**198分**。
それに時間価値原単位をかけると、12,098円。
それに航空運賃や空港までの交通費28,491円を加えると
合計40,589円でおさまります。

例	富士山静岡空港開港前	富士山静岡空港開港後
旅程	静岡駅→羽田空港→新千歳	静岡駅→富士山静岡空港→新千歳
航空運賃 他料金	31,526円	28,491円
所要時間・費用	269分 16,436円	198分 12,098円
計	47,962円	40,589円
差額(1人1回利用の時間・費用短縮効果) → 7,373円		

※時間価値原単位は、国土交通省のマニュアルで61.1円/分とされている。

富士山静岡空港 経済波及効果



空港開港から1年間で

245億5千万円

雇用創出効果 1,653人 / 税収効果 16.9億円

1 富士山静岡空港の県内経済への波及効果



定期便/札幌(新千歳)線▶1日2往復・福岡線▶1日3往復・熊本線▶1日1往復・鹿児島線▶1日1往復・沖縄(那覇)線▶1日1往復
ソウル線▶1日2往復・上海線▶週4往復(平成23年3月27日～5月31日運航スケジュール)
チャーター便/国内36便・海外150便 計186便(開港後1年間の実績)

富士山静岡空港

企業・産業への効果	家計への効果	行政への効果(税収効果)
生産誘発効果* 245.5億円 ※経済波及効果	雇用創出効果 1,653人	国税 8.1億円 県税 4.9億円 市町税 3.9億円 計 16.9億円
営業余剰誘発効果* 34.8億円 ※県内企業が得た利益(広義)の総額	雇用者所得誘発効果* 62.9億円 ※雇われている人(サラリーマンなど)が働いて受ける給与などの総額	※国税:所得税・法人税・消費税 他 県税:県民税・事業税 他 市町税:市町村民税・固定資産税 他

参考:空港管理運営費 6億4千4百万円(平成21年分で空港基本施設管理費、事務所運営費及び人件費等を含む。)

◆ところで経済波及効果って何?◆

富士山静岡空港に見学に来た方が、ターミナルビル内で人気のメロンパンを購入しました。パンが販売される分、当然パンが生産されます。生産されるのはパンだけに限りません。パンの原料である小麦粉や調味料、パンを焼くための燃料の生産も必要となります。石油系の燃料を使用しているのであれば、原油を精製する必要があります。こうして、パンの生産という直接効果だけでなく、間接効果が発生し、生産が誘発されます。このように何らかの消費需要や投資需要があったとき、その需要をまかなうための生産が誘発され、さらにその生産に必要な原材料が生産され、次々と生産が生産を呼んで様々な産業の生産が誘発される効果を生産誘発効果(経済波及効果)と呼びます。

